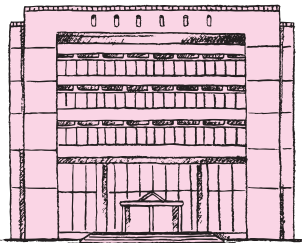


西南学院大学

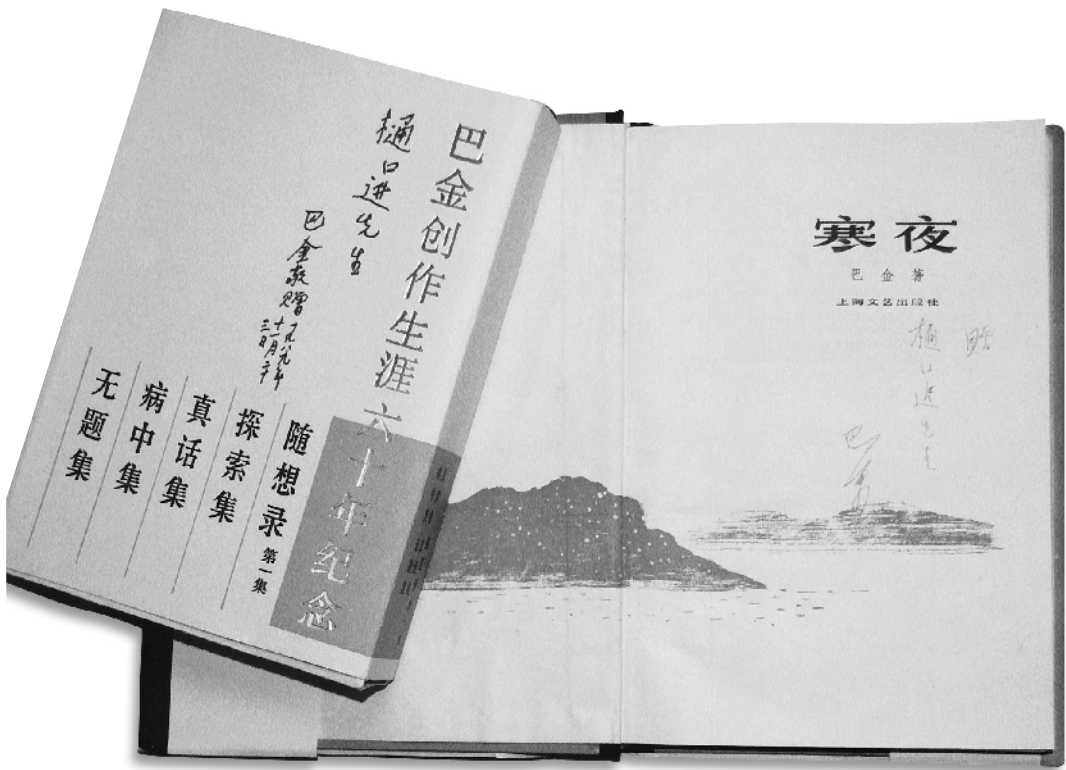


図書館報

No.

155

2003.12



巴金氏署名入りの著書。
親交のあった本学名誉教授 樋口進氏に
贈られたもので、本学図書館に所蔵している。

目次

図書館長に就任して	図書館長 伊藤 龍峰	2
❖ みなさんに読んで欲しい本 ❖		
『佐賀のがばいばあちゃん』	神学部神学科教授 片山 寛	3
待ってくれる本を見つけよう	文学部英文学科講師 藤野 功一	3
最近こんな本をよみました		
『イエスとは誰か?』	神学部神学科4年 踊 真一郎	4

『人間回復の経済学』を読んで	経済学部経済学科3年 草場 倫州	4
私の好きな本	経済学部経済学科3年 宮原 浩一	4
勝つことと育つこと	法学部法律学科3年 田野 圭太	4
2002年度入館者および貸出統計		5
最新アメリカ図書館事情～利用形態の変化～	情報サービス課・課長補佐 古庄 敬文	6・7
お知らせ・編集後記		8



図書館長に就任して

図書館長 伊藤 龍峰

尾上前図書館長の任期満了にともなう退任の後を受け、去る7月から、図書館長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。当然のこととして、以前は、一利用者の立場から図書館のさらなる充実やサービスの向上を願ってきたわけですが、これからは、図書館に対して寄せられる、学生や教職員を始めとする利用者の方達からのこのような要望や期待に応える努力をしなければならない責任を負うことになった次第です。

ありふれた表現ではありますが、図書館は大学の心臓部です。したがって、図書館を見れば、その大学が学問研究や教育にどれだけ力点を置いているかを知ることができると言われています。大学を評価する際の重要な判断規準の一つとして、図書館の充実度やサービスの程度があげられるわけです。このように大学が学問の府であることの証明として図書館は存在するものであるといっても過言ではなく、そのためには、利用者が求めているニーズをタイムリーに掴むためのアンテナを絶えず張り巡らしておく必要があり、そして利用者のニーズに対しては的確な対応をしなければならないと考えられます。すなわち、図書館には、利用者志向的な運営が求められているのです。本学図書館もこのような基本的なスタンスの下で運営がなされてきており、実際、利用者のどのような要望に対しても応えられるような体制を整えていると自負しております。

また、図書館の充実度を知るためのバロメーターの一つとして、蔵書数をあげることができます。ちなみに、本学図書館の蔵書数は、今年3月末現在で、860,912冊の図書（内、洋書344,914冊）、12,409種の雑誌（内、洋雑誌4,303種）、加えて、国連、EU および OECD に関する国際機関資料として、寄託図書19,200冊（内、洋書18,400冊）、寄託雑誌405種（内、洋雑誌370種）が所蔵されています。このように本学図書館は、文系総合大学図書館として特筆できる蔵書数を誇っています。さらに、国際機関資料の寄託図書および寄託雑誌は、本学図書館の特徴でもあります。特に、国連、EU および OECD の3つの国際機関資料が揃っているのは、全国でも4大学しかなく、九州では、

本学以外では琉球大学にしか設置されていないほど貴重な資料です。

近年では、各大学とも IT 関連施設が整備されてきており、情報収集もインターネットによる手法が一般化しつつあるようです。そのため、IT 関連施設の充実を求める声だけが聞こえがちですが、図書館と IT 関連施設とは、利用者指向的な視点からさらなる融合がなされなければならない関係にあるのであって、決して、IT 関連施設が図書館の持つ意義に取って代わる存在ではないと思われます。情報収集に関するコア・センターは図書館以外にはないのです。本学においても図書館関係者は、利用者に対する奉仕者であるとの意識を持って、情報処理センターと連携しながら、図書館をもっと利用し易いものにするための工夫を凝らしていきたいと考えております。

ところで、この原稿を書くに当たって、本学図書館報のバック・ナンバーに目を通しました。興味深くかつ含蓄に富む内容が多いために、原稿の締め切りが近まっていることも忘れて読み耽ってしまう程でした。中でも歴代図書館長の就任時の挨拶が掲載された図書館報は、この原稿のテーマとも同じであるため、特に丹念に読みました。歴代図書館長の先生方による、就任に際しての抱負や図書館運営の方向性の示唆、学生への図書館利用や読書のすすめ、あるいは文献検索における苦労談や目的の文献が発見できたときの喜び等、どの文章にも図書館に纏わるさまざまな思いが熱っぽく語られています。本学の先達や現役の先生方が学問研究や教育にあたって、延いては本学の社会的な評価の向上のために、図書館をその中心に据えながら、如何に多くの力を注いでこられたかの一端を窺い知ることができます。私も及ばずながら微力を尽くしたいと考えています。なお、西南学院大学の歴史の一面を記録する史料としての価値を持つ図書館報のバック・ナンバーのご一読をお勧めしたいと思います。

ともあれ、図書館は利用者のためにあるものです。多くの方が本学図書館で人生の「糧」を得られることを願って止みません。

みなさんに読んで欲しい本

『佐賀の
がばいばあちゃん』神学部神学科教授
片山 寛

6月末頃ですが、『徹子の部屋』というテレビ番組を見た妻が、島田洋七さんという漫才師が出演してとても面白かった、と教えてくれました。島田さんは小学2年生のときに、佐賀に住んでいた母方のおばあちゃんに預けられて、中学3年生までの8年間一緒に暮らしたそうなのですが、黒柳徹子さんに、そのおばあちゃんの思い出を語られたというのです。豪気な「おさの」ばあちゃんの話に妻から聞くうちに、私はお腹が痛くなるほど笑って、最後には涙が出てきました。たとえばそれは、こんな話です。

ばあちゃんは戦争で夫をなくして、戦後はずっと学校の掃除婦をしながら7人の子どもを育てました。孫の島田さんをひきとったときは58歳だったのですが、相変わらずの貧乏暮らしで、しかしいつもとんでもなく明るい人だったそうです。ものごとを絶対に悪い方には考えないのです。

ある晩御飯のときに、島田さんが、「ばあちゃん、この2、3日、ご飯ばかりでおかずがないね」というと、ばあちゃんは、「ああ、明日はごはんもないよ」と言って大笑いをした。

「うちは最近貧乏になったのと違うから、心配せんでよか。自信持ちなさい。うちは先祖代々貧乏だから」と言われる。

島田さんは成績があまりよくなくて、通知表には1が並んでいたそうですが、それをおそろおそろばあちゃんに言うと、「ええ、ええ、1でも全部足したら5になる」と言われた。

数えてみると、島田洋七さんは私と同じ世代の人です。我が家ではあの頃、「ごはんがない」ということまではなかったと思いますが、「ごはんとお漬物だけ」ということは結構ありました。そしてさらに思い出してみると、戦後のあの時代、この「おさの」ばあちゃんほどではないとしても、底抜けに明るくて強い「がばいばあちゃん」たちが、日本には数多くおられたように思うのです。それは貧しくて、しかし希望にあふれた時代でありました。

島田さんはこのおばあちゃんの思い出を、『佐賀のがばいばあちゃん』（愛育社）という本に書いています。「がばい」というのは佐賀弁で「すごい」という意味です。町の書店には置いてないので、読みたい人は版元に注文して取り寄せなければなりません、ぜひ買い求めてお読みください。「生きる勇氣」のようなものが湧いてくる本であります。

待ってくれる本を
見つけよう文学部英文学科講師
藤野 功一

恥ずかしながら、大学時代はあまり本は読まなかった。いい例がフィッツジェラルドの『偉大なギャツビー』である。これはアメリカが黄金のように光り輝いていた1920年代を代表する文学作品として知られていて、大抵の場合、文学が好きな人なら大学生か、早熟な人なら高校の頃に読んでいるはずの本だ。それを、私は高校の時も大学の時も読まずに過ごしてしまった。だいたい、大学では英米文学を専攻していたのだから、本来ならとっくの昔に読んでいなければならなかったのだろうが、聞くところによると金持ちの青年のちょっと気の利いたおしゃれな話だということだから、なんだか鼻持ちならない感じがして敬遠していた。

大学を出て、高校の非常勤をして働いている時に初めて訳本を読んだ。面白かった。負け惜しみじゃないけれど、多分未熟な学生だった頃の自分が読んだらこの本はよく分からなかっただろうとその時思った。この本は、読み手が、自分の足で立って、世の中を自分の力で生き抜こうとしている頃に読むと、その面白さが細部に至るまでよく分かるようになっているのだ。だから自分がフィッツジェラルドの伝えたいことをちゃんと受け取るのにふさわしい人間にやっとなれたようで、少し誇らしい気持ちになったのを覚えている。

原書を読んだのはそのあと2、3年ほどたった頃だ。友人と一緒に韓国を旅行しているとき、たまたま入ったソウルの書店でひどく安いペンギン版の *The Great Gatsby* があったから、日本円で300円くらいで買った。その夜、暇にまかせてその冒頭を読んだら、それまでになく、よく分かるような気がした。英語教師を数年やって、そのころには英語もぼちぼち読めるようになっていたのだ。自分がそこに書かれた文章をちゃんと読めるようになるまで、その本が待っていてくれた気がして、なんだかうれしかった。

たぶん、世の中で名作だとか古典だとかいわれている本は、私達はその本を読むのにふさわしくなるまで待っていてくれるのだろう。一度読んでよくわからなかった本も、いつかは読んで面白く思えるときがやってくる。若い頃にたくさん本を読むことは大事だけれど、そこに書かれている内容をすぐさま理解しようなんて思わない方がいい。むしろ書かれている内容のある部分が理解できずに心に引っかかる読書のほうがずっとすてきだ。その本は心に引っかかって、いつかその部分が読み手の心に、しみとおるようにわかる時を待っていてくれるからだ。皆さんも、そういう自分を待ってくれる本を見つけてほしいと思う。それも読書の楽しみのひとつだろうから。

最近、こんな本を読みました



『イエスとは誰か?』

神学部神学科 4 年

踊 真一郎

『グリーンマイル』という映画を観たことがあるだろうか。これは一例だが、映画や本、演劇や芸術などの文化、結婚式にクリスマスといった習慣、一夫一婦制などの法律、道徳や倫理にいたるまで私たちの生活には、多くのキリスト教的な思想が根底にある。それらはみな、2000年前に生きたイエスという人物の生き方や発言が現代に意識的に、無意識的に影響しているのだ。

では、イエスとは誰であろうか。旧約聖書と同じ正典としているキリスト教、ユダヤ教、イスラム教はイエスの理解の違いによって他宗教として歩んでいる。また多くの作家や芸術家、哲学などの学者が2000年にわたり、世界中いたるところで問うてきた。それらが現代世界を作ってきたのだ。だから世界を視るための重要な視点がイエスなのである。ここに『イエスとは誰か? 宗教・哲学・文学・神学からの50のイエス像』(H・G・ペールマン著、田村宏之訳、教文館、2003)という本がある。本書はイエスに関する50人の捉え方を紹介している。その中にはユダヤ教、イスラム教、ヒンズー教、仏教など他宗教の視点もある。これから国際社会を生きていくあなたに51人目の視点となるようお勧めする。



私の好きな本

経済学部経済学科 3 年

宮 原 浩 一

私がこの本を初めて読んだのは高校生の頃夢中になった衝動買いによるものでした。それから5年経ちますが私が何かに迷い、逃げ出したくなる時には、この本を読み返しては支えになってもらっています。大学の受験勉強がづらい時期に前向きになるきっかけを与えてくれたりチャレンジした結果というのは後悔ではなく思い出となることを教えてくれます。

この本では作者、辻仁成の思い出が読者の手に取ってわかるように鮮明に描かれ「そこに僕もいた」と思える感覚を引き起こしてくれます。私が高校生の頃、素直に受け止めることができなかった話も大学生となった今ではなんとなく受け入れるようになりました。それを理解できた時「大人に近づいたかな?」とうれしく思います。が、何故か寂しくも感じます。

この本が今までに教えてくれたこと、今までもこれからも一人で生きているのではなく、死ぬまで大切に抱えていける宝物“友達”がいるということです。そしてもうひとつは、思い出は永遠に輝きつづけるがもう戻ってこないということです。戻らなくてもいい、進んでいけばまた新しい思い出ができるのです。=私のこの本でのお薦めはXへの手紙=

(『そこに僕はいた』辻仁成著、新潮文庫)



『人間回復の経済学』 (神野直彦著、岩波新書)を読んで

経済学部経済学科 3 年

草 場 倫 州

ホモ・エコノミクス。これ、経済学の間人観です。要は、人間は経済的合理性に基づいて行動するだろうと言う意味です。みなさんは子犬を(私は犬が好きです)見た時何を感じますか。私は撫でたいいつも思います。一方、ホモ・エコノミクスは子犬の市場での価格を計算するわけです。それが悪いとは思いません。人間の一面を良く表した反応です。しかし一面は一面です。大概の人は金銭勘定だけで生きているわけではありません。人間は美しいものを愛で、悲しければ涙を流し、嬉しければ喜びを表すことのできる、表情・感情豊かな生き物です。人間って意外と複雑です。筆者はそんな人間を叡智人と呼びます。

私たちの周りには問題が山積しています。構造改革と呼ばれる問題です。さて突然ですがサーカスの綱渡りを考えます。団長が言います、「みんなはネットを張ると演技に手を抜きます。だから、ネットをはずします。」みなさんはどうしますか。私はそんな綱渡りはごめんです。この本はネットを下に張らないで綱渡りをさせる改革が実施されるのではないかと主張しています。変化は必要です。しかし今の舵取りで良いのか。目指すべき社会とは何か。みなさんにとっても考えるきっかけとなれば幸いです。



勝つことと育つこと

法学部法律学科 3 年

田 野 圭 太

最近、『逢かなる甲子園』(井上光成著、海鳥社、2002)という本を読んだ。これは高校野球の夏の予選大会で、2000年現在、休部期間(=不戦敗)を含め、32年間連敗という不名誉な日本記録を続ける「大分県立日田三隈高校野球部」を追ったノンフィクション作品である。

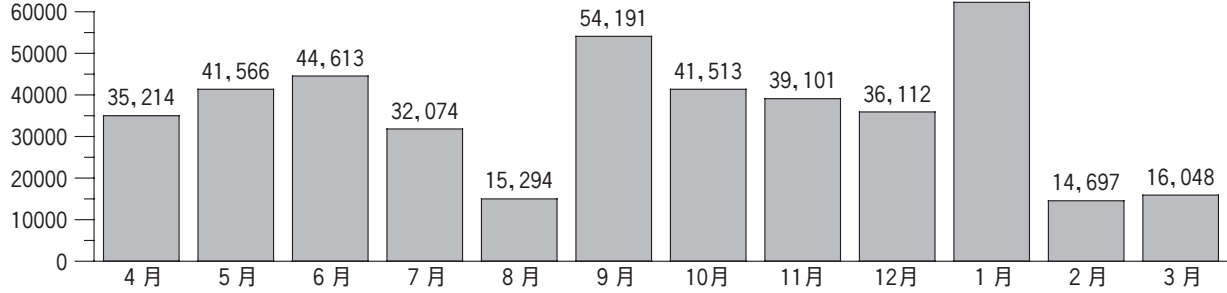
話は、1997年に高校野球の指導者になることを目指した教師が日田三隈に赴任し、当時休部状態が続いていた野球部を再び立ち上げたところから始まる。当初は素人ばかりでとても勝利を目指すというような次元のチームではなかったが、年々野球経験者の入部も増え、幾多の敗北を重ねながらも2001年夏には本気で勝ちが望めるチームで試合に臨んだ。しかしそれでも日田三隈は勝つことができず次の世代へ…。

それでも、本を読めば日田三隈が単なる連敗チームではないことが分かる。野球を通じた人間教育を信じる監督が選手と正面からぶつかり合うことで、選手が人格を鍛え上げ、仲間と固い絆を築き、成長を遂げ野球部を巣立つすばらしいチームだと思う。

今夏、新聞で日田三隈が勝ったという記事を見つけた。連敗は「34」で終わらせたようだ。

◆◆◆ 2002年度入館者および貸出統計 ◆◆◆

入館者統計 (月別/単位:人)



入館者統計 (曜日別/単位:人)

月	火	水	木	金	土	合計
77,566	89,287	81,175	82,924	78,210	23,912	433,074

入館者統計 (時間別/単位:人)

開～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～閉	合計
23,158	58,420	34,797	55,334	52,499	56,313	47,344	44,883	25,656	16,860	8,923	4,395	4,492	433,074

入館者統計特定日別比較表 (単位:1日・人)

4月新学期（4/12）	2,074	
夏季休暇中（7/16）	874	
夏季休暇中（土曜日 8/3）	388	
前期試験期間中（9/11）	3,067	
後期授業期間中（11/11）	1,764	
後期試験期間中（1/24）	3,488	
春季休暇中（3/12）	552	

貸出統計 (月別/単位:冊)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
4,561	7,038	7,749	6,140	3,755	8,190	8,295	8,318	8,609	11,025	2,459	1,490	77,629

貸出統計 (十進分類別/単位:冊)

000	100	200	300	400	500	600	700	800	900	その他	冊数計	(人数計)
2,966	6,958	4,831	29,882	2,841	1,855	2,136	3,522	3,275	12,919	6,444	77,629	40,719

高率貸出統計(ベスト5)

順位	回数	書 誌・著 者
1	43	ハリー・ポッターとアズカバンの囚人／J.K.ローリング作；松岡佑子訳
2	42	賀川豊彦の生涯と思想：キリスト者・社会運動家・平和活動家／河島幸夫著
3	40	ハリー・ポッターと秘密の部屋／J.K.ローリング作；松岡佑子訳
4	38	ハリー・ポッターと賢者の石／J.K.ローリング作；松岡佑子訳
5	29	肩ごしの恋人／唯川恵著

※最近の動向については、目録検索の「貸出の多い本一覧」を参照してください

＜参考(日)＞開館日統計 (月別/単位:日)

()内数は土曜日

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
25(4)	23(3)	25(5)	24(3)	22(4)	22(4)	26(4)	23(4)	21(3)	22(3)	19(4)	25(5)	277(46)

＜参考(月)＞受入冊数統計 (単位:冊)

図 書			製本雑誌			合 計		
和書	洋書	合計	和書	洋書	合計	和書	洋書	合計
12,730	5,097	17,827	1,302	1,572	2,874	14,032	6,669	20,701

最新アメリカ図書館事情 ～利用形態の変化～

2003年10月26日から11月1日まで、私立大学図書館協会の海外集合研修で、アメリカの UC Berkeley と Stanford University、RLG (Research Library Group)、California Digital Library を訪問しました。

今回の目的は、アメリカ・カリフォルニア州の先駆的活動をしている図書館・機関を訪問し、その実情を把握することでした。その訪問先について報告したいと思います。

1 University of California Berkeley Doe/Moffitt Library

カリフォルニア大学バークレー校という、1868年に設立され、ノーベル賞受賞者を数多く輩出している大学として有名です。キャンパスには美術館や博物館もあります。

この大学には20を超える主題専門図書館があり、今回訪問したのはその中の Doe/Moffitt Library です。

キャンパスはとにかく広く、ゆったり時間が流れている感じがします。図書館は天井が非常に高く、入口では学生アルバイトと思われる人が入館者をチェックしています。

図書館事情を説明しますと、アメリカの大学図書館でも資料代の値上がりにより、予算はかなり厳しい状況になっており、資料を電子的なものに移行することによって、その問題を解決しています。いわゆる、e-journal (電子ジャーナル)、e-books (電子ブック) などで、アクセスが簡単で使いやすいことから、利用者には好評のようです。

このような変化に伴い、データベースの利用説明も対象者別、分野別に行われ、クラス単位、あるいは個別に1対1で行なう説明会も設けられています。また、非常に多くの質問が e-mail で行なわれ、図書館からも e-mail で回答するいわゆる e-mail レファレンスが行なわれています。



Berkeley のセイザータワー

アメリカの学生はよく勉強すると言われますが、図書館はもちろんのこと、学内にあるカフェでも分厚い図書を広げ、勉強している姿が目につきました。

次に、西南学院大学でも開設予定の Law School を見学してきましたが、ここでは Law School には欠かせないデータベースが導入されており、その利用説明はライブラリアンの他、それらのデータベースの購入先から講師を呼んで行っているとのことでした。また、図書館のホームページ上にexamという項目があり、そこをクリックすると教員の氏名、主題、学期などから、これまで行われた試験の内容を見ることができるようになっており、Law School は図書館と深い繋がりがあることが分かります。



Law School の閲覧室

2 RLG (Research Library Group)

RLG はシリコンバレーの近くにあり、1974年に創設された非営利団体で、現在、世界16カ国160機関が会員となっています。会員は大学図書館、公文書館、博物館、国会図書館などで、その活動の中心は学術的研究の支援です。

資源の共有、文化的資料保存、多言語開発など、図書館界で問題になっている事についての解決策の検討や提案などを行なっています。



Research Library Group の外観

3 Stanford University

CECIL H. Green Library

サンフランシスコのダウンタウンから1時間20分ぐらい南に下り、Palo Alto という駅で降りると、スタンフォード大学行きの Marguerite という無料のシャトルバスが出ています。この大学は1891年に設立され、優秀な人材を輩出していることで有名です。キャンパスは非常に広く、中にはロダン彫刻庭園などもあります。訪問した Cecil H. Green Library はスタンフォードのシンボルトワーの近く、キャンパスのほぼ中央に位置しています。

この図書館は中央に立派な階段があり、その柱の上部にはギリシャ風の装飾が施されています。それを上がっていくとメインフロアがあります。ここも同様に入口に入館者をチェックする人がおり、この図書館から出るときは、その人にカバンの中身を見せるようになっています。

アメリカの図書館に行って気づくことは、利用者がうまく図書館を利用できるように、様々なサポート体制があることです。利用案内などはフロアの案内からコンピュータの利用方法など、細かく分けて作成されています。データベースの利用方法はクイズ形式で段階的に進んでいくことができるように工夫されており、楽しみながら自然とやり方を覚えることができるようになっています。



CECIL H. Green Library 外観



学生カードを近づけるだけでロックが外れる入館システム

ここでも、Law Library の Robert Crown Library を訪問しました。こちらは Berkeley と一味違った感じで、閲覧室の一部は指定席になっていました。この入館は学生カードをカード読取機に近づけるだけで、ゲートのロックが外れて、通ることができます。荷物を持っているときなどは便利です。

4 UC Digital Library

この機関はカリフォルニアの Berkeley 校をはじめとした9つのキャンパスの共同図書館として、電子サービスに関するライセンス契約を扱っています。もともとは経済的な問題から、9つでそれぞれに取り扱っていたものを1つにまとめて効率化をはかる目的で設立されています。つまり、各キャンパス間の蔵書・資料の共有化の促進です。もう一つはデジタル資料へのアクセスを発展させ、管理することであり、自分たちが持っている情報を最大限利用できるようにすることです。



(UC Digital Library 外観)

アメリカの図書館は、私が2年前に海外研修に行った時に比べて、オンライン資料にかなりの比重をかけるようになってきています。また、以前は少なかったオンラインブックいわゆる e-book もかなり普及してきています。そのため、昔は図書や雑誌そのものを探す場としての機能がメインであった図書館は、今は個人学習やグループでの学習の場として利用されるようになり、結果として利用者が増えていると Berkeley 大学の図書館員が言っていたことが私にとっては意外な感じもしました。

先ほども書きましたが、アメリカの図書館は利用者に対してのサービスが行き届いていますし、図書館に対する認識も日本とは違うことを感じています。今回の研修をとおして、日本でももっと利用者が図書館をほんとに必要と感じられるように、図書館組織、先生方との協力関係、新しいメディアに対する資金の確保などを考えていかなければならないと思いました。

(図書館情報サービス課 古庄敬文)

◎12月～3月休館日

お知らせ

12月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

12月25日(木) キリスト降誕祭
 12月27日(土)～1月5日(月)
 年末年始休暇
 2月9日(月)～14日(土)
 大学入学試験



◎卒業論文用図書の貸出および卒業年次生の貸出について

- (甲)卒業年次生は、卒業論文作成に必要な図書を通常の貸出とは別に長期貸出（5冊・30日間／更新1回可）ができます。貸出カウンターで「卒論用」と申し出てください。
- (乙)卒業年次生は、卒業年度の3月1日以降は図書を借りることはできません。また、貸出中の図書は、2月末日までに必ず返却してください。

◎卒業生の図書館特別利用について

卒業生は、下記の書類を揃えて1階のカウンターで手続をすると図書館を利用することができます。

卒業証明書 1通（100円）

*教務課で発行

写真（3×2.4） 1枚

*3ヶ月以内撮影の証明書用写真

手数料100円（1ヶ月）

*利用期間は最長6ヶ月／更新可

◎春季休暇期間の長期貸出について

受付開始 1月22日(木)

返却期限 4月2日(金)

(卒業年次生は2月末日)

貸出冊数 5冊以内

◎図書館委員の交替

(任期 2003.7.1～2004.6.30)

委員	新任者	前任者
(神学)	片山 寛	天野 有
(英文)	藤野 功一	久屋 孝夫
(フランス語)	武末 祐子	和田 光昌
(教育福祉)	賀戸 一郎	生野 金三
(国際文化)	岩尾龍太郎	塩野 和夫
(商学)	平木 真朗	小川 浩昭
(経済学)	小松 秀和	市東 亘
(法学)	神宮 典夫	柳 明昌

編集後記

最近、小・中・高校では、毎日の読書で「表現力がつく」「集中力アップ」などの成果が見られるとのことで、朝読書の時間を設ける学校が増えています。また、高齢者には、音読が脳の活性化に役立つとの説もあります。活字離れの方は、利用者が比較的少ない1限目や夜の図書館（5ページ、『入館者統計表』参照）で「読書」に親しんでみてはいかがでしょうか。

(Y. Y)